

## 第4回厚生常任委員会会議録

- 1 開会日時 平成27年4月24日（金）午前11時21分
- 2 閉会日時 平成27年4月24日（金）午前11時29分
- 3 会議場所 3階第1会議室
- 4 出席委員  
5番 丸山 明君      7番 原田 素代君      11番 福木 京子君  
13番 岡崎 達義君   15番 小田百合子君
- 5 欠席委員  
な し
- 6 事務局職員出席者  
主 査 青木 智彦君      主 事 藤井 千恵君
- 7 協議事項 1) 委員長、副委員長の互選について  
2) 議会運営委員の選出について  
3) 議会広報編集特別委員の選出について  
4) 議会基本条例特別委員の選出について  
5) その他
- 8 議事内容 別紙のとおり

午前11時21分 開会

○議会事務局主査（青木智彦君） ただ今から厚生常任委員会の委員長、副委員長の互選を行っていただきますが、赤磐市議会会議規則第126条の規定により、互選の方法は単記無記名投票若しくは指名推選のいずれかとなっております。どちらかの方法によってまず委員長を決めていただくこととなりますが、今現在、委員長、副委員長がともにいませんので、この場合は赤磐市議会委員会条例第10条第2項の規定により、年長の委員が委員長の職務を行うとあります。この中で最年長である小田委員に委員長の職務をお願いしたいと思います。

○委員（小田百合子君） はい。それでは協議事項の1番目に委員長の互選についてですが、互選の方法は規則では単記無記名投票、又は指名推選ということになっておりますが、いかがでしょうか。

○副議長（岡崎達義君） 指名推選をお願いします。

○委員（小田百合子君） それでは、どなたかを指名していただけますか。

○副議長（岡崎達義君） 私が言うてもいいん。

○委員（小田百合子君） はい。どうぞ。

○副議長（岡崎達義君） 原田委員に委員長を推薦したいと思います。

○委員（小田百合子君） ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員（小田百合子君） 原田委員が委員長に推選されましたので、よろしくをお願いします。委員長から就任のご挨拶をお願いします。

○委員長（原田素代君） ただいまご推選いただきまして、ありがとうございます。大変重要な課題がたくさん抱えている委員会でございますので、皆さん熱意のある非常に真摯な議論して頂ける厚生メンバーになったことを大変喜んでおりますし、皆さんのご協力、なお一層お願いして、挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

○委員（小田百合子君） では委員長が決まりましたので、委員長席を交代させていただきます。続きはここからお願いします。

〔委員長交代〕

○委員長（原田素代君） それでは副委員長の互選について、互選の方法は、先ほどのように投票と推薦とありますが、皆さんのほうから。

○副議長（岡崎達義君） 推選をお願いします。

○委員長（原田素代君） はい。じゃあどなたかご推薦のご意見を。

○副議長（岡崎達義君） はい。

○委員長（原田素代君） はい。岡崎委員。

○副議長（岡崎達義君） 福木委員をお願いします。推薦いたします。

○委員長（原田素代君） 他にご推薦ありませんか。

○委員（小田百合子君） 賛成。

○副議長（岡崎達義君） 賛成。

○委員長（原田素代君） そうしましたら、副委員長については、福木委員が決定いたしましたので、よろしくお願ひいたします。福木副委員長のほうからご就任のご挨拶をお願ひいたします。

○副委員長（福木京子君） はい。ご選任いただきありがとうございます。委員長を助けて一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

○委員（小田百合子君） よろしくお願ひします。

○委員長（原田素代君） じゃあこちらへどうぞ。協議事項2番目議会運営委員の選出について。委員長と委員長以外で一人ということですが。皆さんのほうからのご意見をお願ひいたします。

○副議長（岡崎達義君） はい。

○委員長（原田素代君） はい。岡崎委員。

○副議長（岡崎達義君） 委員長、副委員長で出ていただければいいと思いますが、どうでしょう。

○委員長（原田素代君） そうですか。よろしいですか。

○委員（丸山 明君） そういのでいいんですね。

○委員長（原田素代君） いえ、いいんですけど、特に出たい言う方が、別にいいんです。

○委員（丸山 明君） 結構でございます。

○委員（小田百合子君） では委員長、副委員長で。

○委員長（原田素代君） ちょっと待って。お二人は。副議長としては出席されるんですね。

○副議長（岡崎達義君） はい。もちろんです。

○委員長（原田素代君） はい。わかりました。よろしいでしょうか。

○委員（小田百合子君） はい。

○委員長（原田素代君） はい。そうしましたら、議会運営委員は委員長と福木副委員長に決定いたしましたので、よろしくお願ひいたします。

引き続き進めます。協議事項3番目議会広報編集特別委員の選出について。委員会から二人ということですが、これは立候補でも推薦でもどっちでもいいんですね。立候補もありですよ。

○委員（丸山 明君） 広報委員やりたいです。

○委員長（原田素代君） はい。なければ私もやりたいのですが。

○委員（小田百合子君） はい。お願ひします。

○委員長（原田素代君） はい。そうしましたら、丸山委員と原田が広報特別委員になります

ので、よろしく願いいたします。

○委員（丸山 明君） よろしく願いいたします。

○委員長（原田素代君） 引き続きまして、協議事項4番目議会基本条例特別委員の選出について。委員会から二人ということですが、これは別に正副関係ないですよ。

○副議長（岡崎達義君） ないです。

○委員長（原田素代君） はい。じゃあ二人の枠しかないので、なりたい方は挙手をお願いします。でも二人しかなれない。

○委員（小田百合子君） 副議長は入らなきゃいけないから。

○副議長（岡崎達義君） 私は当然入らないといけない。

○委員長（原田素代君） でも委員会枠ではないでしょう。

○議会事務局主査（青木智彦君） 副議長とは別に。

○委員（小田百合子君） だから入るから。こっちであの。

○委員長（原田素代君） 一人しか出せないの。

○議会事務局主査（青木智彦君） お二人です。別に。

○委員長（原田素代君） 別にでしょう。だから小田委員からこっち側、二人出していいですね。

○議会事務局主査（青木智彦君） はい。

○委員長（原田素代君） 出たいけど。

○副議長（岡崎達義君） 小田委員是非お願いします。

○委員（小田百合子君） もう済んだもん。

○副議長（岡崎達義君） またそういう。

○委員（小田百合子君） いや、基本条例というのはさらに進めていくためには、やっぱり議長の意向を入れてやっていかないといけないから。これまで委員としてやった人がやってくれたほうがいいと思う。

○委員長（原田素代君） 議長じゃないんだからいいんだよ。

○委員（小田百合子君） 遠慮させてください。

○委員長（原田素代君） わかりました。

○副議長（岡崎達義君） 遠慮するの。

○委員（丸山 明君） では福木委員を。

○委員長（原田素代君） どっちでも。どっちか。

○副委員長（福木京子君） 原田委員長。

○委員長（原田素代君） 私はさせていただきたいと思いますが、あともう一枠。

○委員（丸山 明君） どうぞ。

○委員長（原田素代君） いいの。

- 委員（小田百合子君） 岡崎委員は出るんやから。
- 副議長（岡崎達義君） 私は出るんよ。
- 委員長（原田素代君） だからお二人のどちらか。
- 委員（丸山 明君） 福木委員と僕しかおらのんじゃから。
- 委員長（原田素代君） 譲り合って。
- 委員（丸山 明君） いや、だから僕はそんなに凝りはないんで。お気持ち次第で。
- 副委員長（福木京子君） なったほうがいいかね。
- 委員（丸山 明君） 今までのいきさつから言うたら。
- 副議長（岡崎達義君） どちらでも。
- 副委員長（福木京子君） されない。
- 委員（丸山 明君） いや、してもいいんだけど、そのどんなかなと思ったから、意向を。
- 副委員長（福木京子君） 私、いいです。します。
- 委員（小田百合子君） 釘刺すことをきちんと言うてくれるから、福木委員がやってくださったらいんじゃない。
- 副委員長（福木京子君） はい。わたしがやります。
- 委員（丸山 明君） お願いします。
- 委員長（原田素代君） そうしたら、円満な相談で。それでは議会基本条例特別委員は、原田と福木委員に決定しましたのでよろしく願いいたします。

それではこれで第4回厚生常任委員会を閉会いたします。御苦労さまでございました。

午前11時29分 閉会